

博士課程教育リーディングプログラム関係者各位
(支援期間が終了しているプログラムにもご案内しています)

東京工業大学
リーディングプログラムフォーラム 2018 実行委員会

—博士課程教育リーディングプログラムフォーラム 2018—
学生による「社会に新しい価値を実装する提案」を募集します

2011 年度に募集が開始された博士課程教育リーディングプログラムは、3 年間で 62 プログラムが採択され、それぞれ特色あるリーダー人材の養成に取り組んできました。2018 年 3 月末には 20 のプログラムが補助事業期間を終え、自立し発展した新しい教育プログラムとして各大学内で根付きつつあります。こうした中、平成 30 年 12 月 4 日(火)に開催する「博士課程教育リーディングプログラムフォーラム 2018」は、継続中のプログラムと自立し発展したプログラム、社会で活躍を始めた修了生と学修を続ける学生、様々なビジネス分野で活躍されている企業人と学生・教職員が、社会に新しい価値を実装する取り組みに対して議論を交わし、こうした取り組みに必要な学生・修了生、企業人や教職員とのネットワークを強化することで、リーディングプログラムが築いてきた資産の将来への活用を促すことを目的とします。

リーディングプログラムフォーラム 2018 は、次の二つのセッションで構成され、異なる価値観や経験を有する多様な学生・企業人・教職員が膝をつき合わせて議論を交わすプロセスを通して、「学生を介して生み出す教育と社会との好循環」の構築に向けたメッセージを発信します。

【セッション A-1, A-2 : 社会に新しい価値を実装する提案】

リーディングプログラムに所属する学生が自分の取り組んできた研究やプログラムで身につけた能力を社会でどのように活用できるかを知ること、産業界が学生と接することで新しい大学院プログラムで育成された人材を知ることが目的とします。自立したプログラムも含み 62 プログラムの学生に、技術、商品、ビジネス、教育・社会システム、政策などを問わず「新しい価値」を社会に実装するための提案を公募します。書面審査により、ファイナリスト【セッション A-1】8 チーム程度、ポスター発表【セッション A-2】30 チーム程度を選考します。フォーラム当日、学生は、企業人(メンター)、リーディングプログラム修了生(ファシリテーター)、他プログラムの学生との議論を通じて提案をブラッシュアップします。ファイナリスト、ポスター発表者ともに提案内容と議論プロセスを口頭で発表しますが、ファイナリストについては審査員との質疑応答を通して提案を更にブラッシュアップします。最終的に斬新で議論プロセスを効果的に取り込んだ優秀な提案を表彰します。

【セッション B : リーディングプログラム資産を将来に活かすために】

継続中の 42 プログラムから教職員あるいは学生を 1 名ずつ、また自立した 20 プログラムにも有志による参加を募ります。参加者は、一般参加者とともに文部科学省のご講演「リーディングプログラムの成果と展開(仮題)」を聴講した後、6 グループ程度に分かれて、割り当てられたテーマに対して、問題提起や提案を持ち寄ります。グループ代表者は、情報交換・議論を促し、その議論プロセスの概要を企業等からの参加者も聴講するパネルディスカッションで発表します。

リーディングプログラムフォーラム 2018 の概要

- ① 開催日時：平成 30 年 12 月 4 日（火）11:00～20:00（10:30 より受付）
- ② 開催場所：一橋大学一橋講堂
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2（神保町駅，竹橋駅より徒歩 4 分）
- ③ 使用言語：日本語・英語（日本語から英語への同時通訳付き）

④ プログラム（暫定案）

10:30-	受付		
11:00-11:20	開会式		
	社会に新しい価値を実装する		リーディングプログラム資産を将来に活かすために
	【セッション A-1】 ファイナリスト 8 チーム程度	【セッション A-2】 ポスター発表者 5 チーム×6 グループ	【セッション B】 8 プログラム程度×6 グループ [テーマを決めて分担する]
11:30-14:50 (3h20m)	11:30-13:20（1h50m） ●各チームは提案紹介スライド 3～4 枚を用意 ●各チームに企業メンター 1 名とファシリテータ（プログラム修了生）1 名を配置 ●学生／企業メンター／ファシリテータが協働し，提案をブラッシュアップ	11:30-12:50（1h20m） ●各チームは提案を紹介するポスターとスライド 1 枚を用意 ●各グループに企業メンター 1 名を配置 ●各チームがポスターを使って提案を紹介した後，チーム間で質疑	11:30-12:10（40m） 文部科学省「リーディングプログラムの成果と展開（仮題）」
		12:50～13:20（30m） 各チームで提案概要と質疑で深まったポイントを 1 枚のスライドに集約	12:20-13:30（1h10m） 教職員・学生による討議と要旨メモ作成
	13:20-14:50（1h30m） 発表スライド（ブラッシュアップ効果を含む）を作成【学生のみ】	13:40-14:50（1h10m） 口頭発表 2 分×30 チーム 【審査対象】	
15:10-16:00 (50m)			パネルディスカッション 発表 3 分×6 グループ代表 全体質疑
16:00-17:20 (1h20m)	（発表 6 分+質疑 3 分） ×8 チーム【審査対象】		
17:30-18:50	意見交換会（ポスターを展示）		
19:00-19:40	審査結果発表，表彰（企業メンター，ファシリテータのコメント発表を含む）		
19:40-20:00	閉会式・集合写真撮影		

1. 今回の募集内容

博士課程教育リーディングプログラム（支援期間終了後の自立した 20 プログラムも含まれます。以下同じ）に所属する学生を対象に、【セッション A：社会に新しい価値を実装する】の提案（日本語版・英語版の応募申請書式を添付）を以下のとおり募集します。

- ① 申請書式：WORD ファイルの応募書式（日本語版，英語版）は，本案内とともに各リーディングプログラム事務室に送付します。全てを 3 頁以内に記載し，WORD ファイルを送付して下さい。
- ② 申請期間：2018 年 9 月 10 日(月)～9 月 18 日（火）
- ③ 申請先：リーディングフォーラム 2018 事務室 leading-forum-2018@agl.titech.ac.jp
- ④ 選考件数：書面審査によりファイナリストを 8 チーム程度，ポスター発表者を最大 30 チーム選考します。選考に漏れた場合は，ご容赦ください。
- ⑤ 旅費負担のお願い：継続中のプログラム，支援期間終了後の自立したプログラムとも，12 月 4 日（火）のフォーラム 2018 に参加するための旅費は，それぞれのプログラム・大学等でご負担ください。

なお，【セッション B：リーディングプログラム資産を将来に活かすために】の参加者の募集は，9 月 3 日～18 日に実施する予定です。継続中の 42 プログラムについては，教職員あるいは学生の 1 名ずつのご参加をお願いします。支援期間終了後の自立した 20 プログラムについても，有志（教職員あるいは学生の 1 名）のご参加を是非ご検討ください。

2. 【セッション A：社会に新しい価値を実装する】の提案の応募条件

- ① チームは，博士課程教育リーディングプログラムに所属する学生 1～3 名（代表学生 1 名と共同提案者 0～2 名）で構成する。
- ② 共同提案者となる学生は，代表学生とは異なる博士課程教育リーディングプログラム，あるいは代表学生とは異なる大学の博士課程教育リーディングプログラムに所属する学生とすることも可とする。
- ③ ひとつの博士課程教育リーディングプログラムからの応募件数（各プログラムに所属する学生が代表となるもの）は 2 件までとする。

3. 審査項目

書面審査は以下の 5 項目について評価する。

- ① 課題の社会的・経済的重要性
- ② 課題への取り組みの具体性・独創性
- ③ 提案の社会的効果・インパクト
- ④ 提案書の完成度
- ⑤ 提案の実現可能性

リーディングプログラムフォーラム 2018 当日のプレゼンテーションに対する審査は，以下の 6 項目について評価する。

- ① 課題の社会的・経済的重要性
- ② 課題への取り組みの具体性・独創性
- ③ 提案の社会的効果・インパクト
- ④ プレゼンテーションの完成度
- ⑤ 提案の実現可能性
- ⑥ 当日の議論・質疑による提案の深まり

4. 今後の日程

- ① 平成 30 年 9 月 18 日（火） 【セッション A：社会に新しい価値を実装する】提案の応募書類締め切り
- ② 9 月 3 日～9 月 18 日 【セッション B：リーディングプログラム資産を将来に活かすために】の参加者募集
- ③ 9 月 25 日～10 月 15 日 審査員によるピアレビュー
審査委員会によるファイナリスト及びポスター発表チーム決定
- ④ 10 月 22 日（月） メールによる審査結果（ファイナリスト、ポスター発表者）の通知
- ⑤ 10 月 23 日～11 月 22 日 一般参加者の登録
- ⑥ 平成 30 年 12 月 4 日（火） リーディングプログラムフォーラム 2018 の開催

5. 科学技術の持ち込みにおける注意点

- ① 知的財産保護の観点から、基本的に科学技術はすでに公開されたものに限定して下さい（公開された科学技術とは、学会発表、論文、特許などで一般に公表されたものを示します）。また、学生自身の研究による科学技術を持ち込む場合には、その科学技術の責任者（指導教員など）に必ず相談して、本イベントでの使用許可をもらって下さい。
- ② 未公開の科学技術の使用は避けて下さい。リーディングプログラムフォーラム 2018 は公開イベントなので、未公開の科学技術を本イベントに持ち込むと、特許の出願などができなくなる場合があります。また、企業との共同研究などの機密性の高い科学技術を本イベントで公表してしまった場合には、深刻な問題となる恐れもあります。なお、未公開の科学技術や秘密保持契約に守られた科学技術を本イベントで用いて何らかのトラブルが発生した場合、リーディングプログラムフォーラム 2018 とその関係者は一切の責任を負いません。

6. アンケート等

今後のイノベーション教育の向上のためにアンケート等を行い、知見をまとめます。個人情報を秘匿してアンケート結果を公開することがあります。ご協力を了解いただけない場合には、アンケートは回収しますが、公開レポート等にはそのデータは利用しません。

7. ウェブサイト

リーディングプログラムフォーラム 2018 の HP（<http://leading-forum-2018.jp/>）を 9 月よりオープンします。この HP を通じて、詳細（ファイナリスト・ポスター発表チームへの依頼事項、スケジュールの変更等も含めて）や注意事項等をお知らせします。

<連絡先>

東京工業大学

リーディングフォーラム 2018 事務局

E-mail: leading-forum-2018@agl.titech.ac.jp